

2013年1月度 文京支部 幹事会&新年会 (2013.1.8)

出席 森下 奥長 田川 清水 佐久間 越川 飯塚勝 千田 中川 夏目 二木 福田 コイケ

＝【支部長、挨拶 兼 問題提起 `ゼロからの脱出、 支部長 奥長弘三】＝

1. はじめに

BNK-538 北海道合宿ツアー
奥山専務からの年賀状

2. 同友会理念に立ち返る

- 1) 三つの目的 良い経営をつくる ← 文京支部はここが弱い
良い経営者になる
良い経営環境をつくる

- 2) 自主・民主・連帯 …… 近年 `連帯、が弱まっている

3. 「よい会社づくり」にもっと焦点を合わせたい

1) 同友会は経営者の団体

自社の経営が順調にいくことがすべての基本 (厳しい経営環境だから一層このことが重要)
支部内で積極的に「よい会社づくり」の為の議論を
お互いに抱えている問題を話し合う
「支部に出てきたら、元気をもらった」と実感できること

2) 東京同友会の経営指針成文化セミナーに注目を

文京支部から毎回2~3名送り出す系統的な努力を

3) 経営理念検討会の発展的脱皮を

スタート時と状況が変化している
今の時代に合った形に脱皮をしたい

4) 支部メンバーにとって参加したくなる活動を

5) 小グループの積極的立ち上げを (3名以上の発起人)

4. 幹事会を魅力あるものにする為にどうするか

1) 開催日の検討

2) 幹事会は `よい会社づくり、 `連帯、の中心になるべきもの

以 上

【参加者発言録】

司会（森下氏）：538北海道合宿に11月参加し、レポートをHPに上げていますが、北海道会員の経営に対する思い入れはすばらしかった。理念を明確にした経営の姿に、他の参加者も感動したのだと思います。だからこそ東京と北海道の交流を強めていきたいと考えています。

さて、「同友会にこんな場があったらよい」というアイデアを頂戴したいと思います。皆様のご発言をお願いいたします。

多少強制的にでも入会を勧めなければ増強は進まないのかなと感じる。

BNK538では、徐々に若手の輪ができています。あと1年ほどで主要な活動になると思う。また、理念検討会の活動のステップアップを考えたい。

昨年、事業継承の例会に参加 自分自身勉強になっただけでなく、会員の顔ぶれが変わってきたように感じた。減った数もそう大きい数字ではない。いい方にとらえてはどうか？増強一本槍で『とにかく入って』では参加しにくくなる。支部のムードをよくすることが先決ではないか。

今、この場にいない若手会員の近況を紹介します。

北海道旅行が昨年一番楽しい出来事だったという根橋さん。

馬場さんからは13年後半から参加したいとのこと。正基さんも支部に馴染んできた。

司会：このときは同友会楽しかったというエピソードがあったら教えて下さい。

小泉純一郎は好きじゃないが、どうしようもない状況を打破したいという気持ちはある。理念を全面に出しても応えられない。また、若手の活動に注力していかなければならない。自身、ノウハウが学べる例会等によく出ているようにしている

経営指針成文化セミナーに参加したくて入会。経営者としての役割を考え通す機会だった。また、女性部関係の社外重役会議に参加 入らなければ知り合えなかった人がいる。自身がアンテナを高く張り、自然な気持ちで周囲に知らせることが大切。

昨日、年賀式が開催され、商店街連合会の島田会長から『二木さんのような方がいるとは、同友会は最近変わった。』とのこと。

北海道での感動から、文京にもこういった企画をすれば楽しいんじゃないかと感じた。奥山さんのご尽力へのお礼。夜のすすきのも含めて楽しく実りのある研修だったと思う。初めて参加した同友会の研修が文京支部の成文化セミナー。夕食後も勉強することへの新鮮さと驚き。そして、幹事会での田川さんと佐久間さんの白熱した議論。例会だけでなく二次会も面白いと感じた。北海道研修7月にもやるので是非参加していただきたい

司会：後継者に何を学ばせたい、つかみとって欲しいと思いますか？

私自身はそろそろ引退を考えています。後継者を積極的に同友会に出席させたい。後継者にこんなことを学ばせたいというよりも、自身が何をしたいのかを大切にされた方がよいと思う。

異業種の交流の場であることが魅力。小さなところに固まっている出版関連。下を向いた話が多い。夢が広がる話ができる場であればよいと思っている。

ここにいる会員が後継者に置き換わったら、相当に面白くなるはず。

「朋友だより」で、異業種である出版関連の話を取り上げたこと。意気を感じたから今日参加した。ありがとうございます。

題名だけでも参加してみたい例会が作りたい。どこの支部の人が来ても楽しそうだという会を開催したい。

3月に金融円滑化法の修正がでていますが、取引先が倒産したら連鎖するという危機感がある。まさに会員企業は辞書の一頁。取引先には同友会に入って一緒に頑張ろうと言わなければならない。政府は早速、大企業中心の政策を打ち出しているが、それと同友会の方向はちがう。同友会運動が社会を変える。

入会してすぐの時期は全国集会巡りをした。他者の取り組みを自社に持ち帰っては蹴られて、また全国集会に参加することの連続だった。粘り強くやることが大事だったと、先日の二木さんの報告（11月例会）から感じた。いい経営を作る運動こそ中心であると思う。

司会：こんな支部だったらというアイデアがあれば聞かせてください。また、楽しかった頃の文京支部ってどういったことで盛り上がっていましたか？

資金繰り講座のような実践向きの例会には参加者が多く、盛り上がった。

今の人たちはそういった実践向きのものを求めているように感じる。

BNK538で報告する人がふえると嬉しい。異業種交流で Win-Win の関係を築いた事例に学ぶこともやってみたい。ニーズにあったものを企画し続けなければ楽しくない。

「日本国憲法」を学ぶ例会を提案したときの幹事会のもめ方は激しいものがあった。喧々諤々の末、当時支部長の佐久間さんが「まずは知る必要があるんじゃないか」という結論を出した。かなり真剣な議論が印象深かった。

司会：同友会で面白いと感じた瞬間は？

入会間もなく、若造であったと自覚した瞬間。一家言ある人と会える。今も若い人から言われることは怖いけど、それがいいところ。

文京支部だけが良いのではなく、中小企業家同友会が良い。文京支部という枠だけで考えないことが大切ではないか。

文京支部は変わってると言われるが、どこがどう違うかわからない。

知っている人には「やや左」と言われることが多く、文京区のなかでは同友会は認知は低い。しかし、民主的であることが非常によい。

支部運営も事業経営なのだから例会は本気にならないといけないと思う。テーマは単純化した方がいい。どう売り上げをあげるべきかを具体的に学びたい。成文化も非常にいいが、出来はともあれそのようなものは、経営者であれば作っているはず。お互い一歩踏み込んで、いい会社になることを具体的に考えないといけない。仲間があればいろいろできるはず。

事務局はいろんな事例を持っている。幹事・役員に提案せよ。それが事務局の仕事だ。

入会して30年近く経つ。暮れは繁忙期@ビルメンだが、若手が育ち、12月の忙しい時期でも現場に出ないですむようになった。同友会では夢を持てた。会員数100名越えたら祝賀会。そして超過達成を！と必死に増強に取り組んだ思い出もある。

若い世代には、「こういう会社を作りたい」という思いをもってほしい。そこにベテラン経営者がアドバイスする。そういう支部が今後はいいのかなと感じている。

以下 新年会パートへ